

(様式第 1 号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

2026 年 7 月 1 日

国土交通省港湾局長 殿

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 4 条第 1 項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	白鳥運輸株式会社
所 在 地	〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町 108 番地
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 坂田 薫
担 当 者 連 絡 先	電 話：045-641-3841
	メール：h-nishio@shiratori-logi.com
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://shiratori-logi-com.prm-ssl.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

昭和 25 年に設立し、横浜港での荷役作業を中心業務として営業し、同 37 年一般区域貨物自動車運送事業免許を取得、続いて同 39 年に沿岸荷役事業免許を取得し、会社基盤を確立せしめ順調に伸長して参りました。 更に、同 45 年東京地区に進出し、倉庫荷役業務を引き受け事業拡大を図り、その後、貨物のコンテナ化等、革新の輸送に伴う港湾情勢の変遷に対応すると共に、将来の発展を期し、同 49 年海上コンテナ輸送部門を開設し、現在に至っております。
--

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	社用車のハイブリッド・EV 化への切	現在：40% → 全車両対象
□環境 ✓社会 ✓経済	業務支援ソフトの導入による生産性の向上、見える化の実現 働き方改革による時間外削減	ゼロ災への実現（ハード面、ソフト面） 時間外 15%削減
□環境 ✓社会 ✓経済	安定的な雇用とし、毎年新卒者採用 定年後のシニア社員の採用	毎年度：1 名以上の採用 定年者の活用業務枠の拡大

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している						5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している						5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	業務の生産性向上や見える化を実現するため、業務支援のシステム導入 →時間外15%削減								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	安全衛生委員会の開催(毎月) 社内安全パトロールの実施(週一) →ゼロ災への実現(ハード面、ソフト面)			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる				3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	各事業所内への女性の採用や、シニア社員の活用					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	社外研修や講習・教育などの参加				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	定期健康診断受診、特定検査や二次検診の推奨 インフルエンザワクチン接種の推進・補助			3					8									
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる												11.6	12.4 12.5		14.1			
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	社用車のハイブリットやEV化(20%→全車両) 昼休みや不要な場所の消灯 空調システムの管理							7.3						13				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている								7.2 7.3					12.4	13.3				

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している						6.6										15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる						6.4 6.6												
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している			3.9			6	7						12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している												12.6						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる							7.2							13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している			3.9										12.4					
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	業務支援ソフトの導入により見える化の実現									9								
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる						6							12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	地区内での港湾関係の協会への所属し、地域との交流活動などへの積極的参加				4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	各所での事務所外周りでの清掃活動実施				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				

